

拠点：鳥取・倉吉 知の市場

動物臨床医学事例研究 g・h

連携機関：動物臨床医学研究所

動物臨床医学研究所
理事長 山根義久

1. 機関の紹介と教育活動の趣旨：

動物医療の中でも伴侶動物医療の近年の発展は目を見張るものがある。しかし、急速な発展の中にはひずみが発生しているのも事実である。医療は生き物的要素があり、急速な変化に対応不能な面もある。

当研究所では、長年に亘り合同カンファレンスを開催し、特別講演では臨床獣医学のありようを再考するとともに、症例検討では、原点であるひとつひとつの症例を大事に検証し、そのありようを検討してきた。

今後も、ベテランと若手の獣医療従事者の情報交換の場であり、また、各病院の情報交換の場として日々の診療に役立つ情報を共有できる場となるよう開催する。

2. 知の市場参加の経緯

当合同カンファレンスをより多くの方々にも参加して頂くため、また、ベテランと若手の獣医療従事者の情報交換の場、各病院の情報交換の場として日々の診療に役立つ情報を共有できる場として、従来の合同カンファレンスのレベルアップを図る為に 2010 年より知の市場の連携機関及び開講機関として開催を開始した。

3. 次年度(2013 年度(平成 25 年度))の開講内容及び目標と課題

前期(15 講義:2 単位):5 日間(1 日 3 講義)開講する。

下記のとおり基礎から応用までの教育講演と、症例検討(外科的疾患・内科的疾患)で構成して行う。

<講義内容>

・2013.4.21

1)教育講演：内科「副腎皮質機能亢進症の診断と治療」

概要：副腎皮質機能亢進症(クッシング症候群)は中高齢の犬における頻度の高い疾患である。1 次診療の現場でも遭遇する確率は高く臨床の現場では様々な事情により実現に工夫が必要である。近年新しい薬剤の登場と診断のスタンダードが変わりつつ有り、また高齢化がさらに進んだ症例が多様化する状況を検証する。

講師:白永伸行(シラナガ動物病院)

症例検討(1):外科的・内科的疾患の検討

・2013.5.26

2)教育講演:再生医療「再生医療、医学から獣医学へ、そして獣医学から医学へ」

概要:難治性疾患に対する再生医療は医学の世界で確実に実績を積み上げている。組織幹細胞を用いた培養角膜上皮細胞移植は日常の医療となった。多能性を有する胚性幹細胞を用いた再生医療は獣医学で培われてきた胚操作の技術がその基幹となった。そして今、人に比べて強い再生力を有する動物の診療を行っている獣医学からの発信が期待されている。

講師:伊藤典彦(東京工業大学)

症例検討(2):外科的・内科的疾患の検討

・2013.7.28

3)教育講演:整形「橈尺骨骨折－プレート固定を中心に－」

概要:骨折治療の中でも変形癒合や癒合不全を起こしやすい犬の橈尺骨骨折の整復固定について消毒・アプローチ法・インプラントの選択、使用する骨折整復器具、術前術後の管理などを中心に失敗しないための「コツ」を交えて解説する。

講師:櫻田 晃(さくらだ動物病院)

症例検討(3):外科的・内科的疾患の検討

・2013.8.25

4)教育講演:血液「一次診療の現場で知っておきたい造血器腫瘍の基礎知識
－慢性骨髄増殖性疾患－」

概要:慢性増殖性疾患(MPD)は顆粒球系、赤芽球系、巨核球系に線維芽細胞も加え、これらが不可逆性に増殖する病態であり、慢性骨髄性白血病、真性赤血球増加症(真性多血症)、本態性血小板血症、慢性骨髄線維症が含まれる。これらの疾患を解説する。

講師:下田哲也(山陽動物医療センター)

症例検討(4):外科的・内科的疾患の検討

・2013.9.29

5)教育講演:眼科「眼が痛い」

概要:「眼が痛い」場合の対処について考える。眼の痛みは眼球付近の様々な部位から発生するので、痛みの発生部位を眼球外、眼球表面、眼球内に分けて考えると分かりやすくなる。痛みの発生部位が特定できれば、多くの場合対処法も特定されてくる。

講師:山形静夫(山形動物病院)

症例検討(5):外科的・内科的疾患の検討

後 期(15 講義:2 単位):4 日間(一部を除き1 日 4 講義)開講する。

下記のとおり基礎から応用までの教育講演と、症例検討(外科的疾患・内科的疾患)で構成して行う。

<講義内容>

・2013.10.27

1)教育講演:外科1「犬猫の門脈体循環シャントの診断」

概要:犬猫の門脈体循環シャント(PSS)は、発育不全や肝性脳症の最も一般的な原因である。しかし、特異的な臨床症状がすべての症例で認められるわけではなく、病態や治療法の異なる先天性と後天性の鑑別も必要である。ここでは PSS の診断テクニックを解説する。

講師:小出和欣(小出動物病院)

2)教育講演:外科2「犬猫の門脈体循環シャントの治療」

概要:犬猫の門脈体循環シャント(PSS)の治療には、肝性脳症や基礎疾患のコントロールのための内科的治療と、さらに先天性 PSS の場合にはシャント血管を閉鎖するための外科的治療がある。ここでは PSS の内科的治療と外科的治療のポイントを解説する。

講師:小出和欣(小出動物病院)

症例検討(1):外科的・内科的疾患の検討

・2014.1.26

3)教育講演:循環器「循環器薬の基本的な使い方」

概要:循環器疾患の内科的治療を行う上では、その動物の病態ステージを把握する必要がある。動物の病態ステージ分類としてはISACHC 分類が長らく用いられてきたが、2009 年にアメリカ獣医内科学会は Consensus Statement(ACVIM CS)として犬のMRに対する新たな分類を提唱した。今回は主に ACVIM CS に基づいたMRに対する基本的な循環器薬の使い方について解説する。

講師:山根 剛(動物臨床医学研究所)

症例検討(2):外科的・内科的疾患の検討

・2014.2.16

4)教育講演:エキゾチック哺乳類の診療1「診療対象動物と身体検査」

概要:エキゾチック哺乳類の診療の実践について診療対象動物と、各動物の身体検査方法について解説する。

講師:加藤 郁(加藤どうぶつ病院)

5)教育講演:エキゾチック哺乳類の診療2「診断と治療」

概要:エキゾチック哺乳類、特にウサギを中心に診断と治療について、そのポイ

ントと最新知見などを解説する。

講師:加藤 郁(加藤どうぶつ病院)

症例検討(3):外科的・内科的疾患の検討

・2014.3.23

6)教育講演:循環器1「インターベンションによる循環器疾患の治療1」

概要:心臓病の診断とインターベンションに必要な器具機械の操作法などについて解説する。

講師:高島一昭(動物臨床医学研究所)

7)教育講演:循環器2「インターベンションによる循環器疾患の治療2」

概要:実際の症例に対するインターベンション治療の実際を解説する。

講師:高島一昭(動物臨床医学研究所)

症例検討(4):外科的・内科的疾患の検討

・当該年度までの開講実績・課題・問題点及び今後の対応策・将来計画

2010 年度(H22 年度)前期			科目 No.ZY222a		受講者数:69 名			
講義 No.	出席 者数	小レポート 提出人数	アンケート集計結果					総平均
			1	2	3	4	5	
1	41	38	4.5	4.4	4.7	4.6	4.4	4.5
2	42	38	4.5	4.4	4.6	4.2	4.3	4.4
3	42	38	4.5	4.4	4.6	4.2	4.3	4.4
4	44	40	4.7	4.4	4.6	4.7	4.4	4.6
5	44	40	4.7	4.4	4.6	4.7	4.4	4.6
6	44	38	4.3	4.1	4.5	4.1	4.1	4.2
7	44	38	4.3	4.1	4.5	4.1	4.1	4.2
8	41	33	4.2	4.0	4.6	4.0	3.9	4.1
9	41	33	4.2	4.0	4.6	4.0	3.9	4.1
10	41	32	4.4	4.2	4.8	4.1	4.1	4.3
11	37	32	4.4	4.2	4.8	4.1	4.1	4.3
12	41	37	4.5	4.4	4.8	4.4	4.3	4.5
13	41	37	4.5	4.4	4.8	4.4	4.3	4.5
14	41	36	4.4	4.3	4.8	4.2	4.2	4.4
15	37	36	4.4	4.3	4.8	4.2	4.2	4.4
総平均	41.4	36.4	4.4	4.3	4.7	4.3	4.2	4.4

2010 年度(H22 年度)後期	科目 No.ZY222b	受講者数:78 名
-------------------	--------------	-----------

講義 No.	出席 者数	小レポート 提出人数	アンケート集計結果					総平均
			1	2	3	4	5	
1	56	50	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	4.4
2	56	49	4.3	4.2	4.8	4.3	4.2	4.4
3	56	49	4.3	4.2	4.8	4.3	4.2	4.4
4	51	46	4.5	4.6	4.6	4.6	4.3	4.5
5	51	48	4.3	4.3	4.6	4.1	4.1	4.3
6	51	48	4.3	4.3	4.6	4.1	4.1	4.3
7	17	16	4.8	4.2	4.5	4.6	4.4	4.5
8	17	17	4.3	4.2	4.8	4.1	4.1	4.3
9	17	17	4.3	4.2	4.8	4.1	4.1	4.3
10	34	34	4.8	4.7	4.9	4.7	4.6	4.7
11	35	35	4.4	4.5	4.7	4.5	4.5	4.5
12	35	35	4.4	4.5	4.7	4.5	4.5	4.5
13	30	30	4.5	4.4	4.6	4.5	4.4	4.5
14	30	29	4.3	4.2	4.7	4.1	4.2	4.3
15	30	29	4.3	4.2	4.7	4.1	4.2	4.3
総平均	37.7	35.5	4.4	4.3	4.7	4.3	4.3	4.4

2011 年度(H23 年度)前期			科目 No.ZY222c		受講者数:65 名			
講義 No.	出席 者数	小レポート 提出人数	アンケート集計結果					総平均
			1	2	3	4	5	
1	47	37	4.7	4.8	4.4	4.8	4.6	4.7
2	47	35	4.1	4.8	4.2	3.8	3.7	4.1
3	47	35	4.1	4.8	4.2	3.8	3.7	4.1
4	36	17	4.8	4.5	4.9	4.6	4.4	4.6
5	36	17	4.8	4.5	4.9	4.6	4.4	4.6
6	36	22	4.7	4.6	4.9	4.3	4.3	4.6
7	36	22	4.7	4.6	4.9	4.3	4.3	4.6
8	48	35	4.5	4.4	4.7	4.3	4.2	4.4
9	48	35	4.5	4.4	4.7	4.3	4.2	4.4
10	48	34	4.3	4.2	4.6	4.2	4.1	4.3
11	48	34	4.3	4.2	4.6	4.2	4.1	4.3
12	24	23	台風による悪天候の為中止(レポートの提出をもって出席とみなした)					
13	23	23	台風による悪天候の為中止(レポートの提出をもって出席とみなした)					
14	23	23	台風による悪天候の為中止(レポートの提出をもって出席とみなした)					
15	23	23	台風による悪天候の為中止(レポートの提出をもって出席とみなした)					
総平均	38	27.7	4.5	4.5	4.7	4.3	4.2	4.4
2011 年度(H23 年度)後期			科目 No.ZY222d		受講者数:64 名			

講義 No.	出席 者数	小レポート 提出人数	アンケート集計結果					総平均
			1	2	3	4	5	
1	45	30	4.4	4.2	4.5	4.5	4.2	4.4
2	45	29	4.8	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6
3	45	29	4.8	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6
4	46	31	4.7	4.5	4.9	4.7	4.5	4.7
5	46	31	4.5	4.5	4.8	4.4	4.3	4.5
6	46	31	4.5	4.5	4.8	4.4	4.3	4.5
7	33	20	4.8	4.7	4.9	4.8	4.6	4.8
8	33	21	4.6	4.5	4.9	4.5	4.5	4.6
9	33	21	4.9	4.5	4.9	4.5	4.5	4.6
10	32	24	4.7	4.6	4.7	4.8	4.5	4.7
11	32	24	4.6	4.5	5.0	4.7	4.8	4.7
12	32	24	4.6	4.5	5.0	4.7	4.8	4.7
13	41	20	4.9	4.8	5.0	4.9	4.7	4.8
14	41	19	4.6	4.6	5.0	4.6	4.6	4.7
15	41	19	4.6	4.6	5.0	4.6	4.6	4.7
総平均	39.4	24.9	4.7	4.6	4.8	4.6	4.5	4.6

2012 年度(H24 年度)前期			科目 No.ZY222e		受講者数:67 名			
講義 No.	出席 者数	小レポート 提出人数	アンケート集計結果					総平均
			1	2	3	4	5	
1	45	28	4.7	4.6	4.8	4.8	4.6	4.7
2	45	30	4.6	4.4	4.8	4.5	4.4	4.5
3	45	30	4.6	4.4	4.8	4.5	4.4	4.5
4	39	26	4.5	4.3	4.5	4.3	4.1	4.4
5	39	26	4.5	4.4	4.9	4.5	4.4	4.6
6	39	26	4.5	4.4	4.9	4.5	4.4	4.6
7	41	29	4.8	4.6	4.8	4.8	4.7	4.7
8	41	29	4.6	4.5	4.9	4.6	4.5	4.6
9	41	29	4.9	4.5	4.9	4.6	4.5	4.7
10	35	20	4.8	4.9	4.6	4.9	4.9	4.8
11	35	20	4.6	4.6	4.9	4.6	4.5	4.6
12	35	20	4.6	4.6	4.9	4.6	4.5	4.6
13	36	25	4.7	4.5	4.7	4.7	4.5	4.6
14	36	25	4.6	4.4	4.7	4.5	4.4	4.5
15	36	25	4.6	4.4	4.7	4.5	4.4	4.5
総平均	39.2	25.9	4.6	4.5	4.8	4.6	4.5	4.6

・問題点及び反省点

開催地が鳥取であるため、冬の参加者（後期）が少なくなる傾向にある。車での参加が多いため、致し方ない問題点と言える。

・その他、抱負や課題など

これまでの経験を踏まえ、次年度より開講科目を充実させ、併せて聴講者も幅広く募集する。